

5

— 平成 22 年度 —

東濃西部広域行政事務組合
一般会計、特別会計歳入歳出
決算審査意見書

東濃西部広域行政事務組合監査委員

東 広 監 第 1 号
平成23年 7 月 6 日

東濃西部広域行政事務組合
管理者 多治見市長 古川 雅典 様

東濃西部広域行政事務組合

監査委員

綾 瀬 和 夫

監査委員

熊 谷 隆 男

平成22年度東濃西部広域行政事務組合一般会計、特別会計
歳入歳出決算審査意見書の提出について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第292条において準用する同法第233条
第2項の規定により審査に付された平成22年度東濃西部広域行政事務組合一般会計、
特別会計歳入歳出決算について審査した結果、次のとおり意見を付して提出します。

1 審査の期日 平成 23 年 6 月 30 日

2 審査の対象

- (1) 平成 22 年度東濃西部広域行政事務組合一般会計歳入歳出決算
- (2) 平成 22 年度東濃西部ふるさと活性化基金特別会計歳入歳出決算
- (3) 平成 22 年度東濃看護専門学校事業特別会計歳入歳出決算
- (4) 平成 22 年度東濃西部少年センター事業特別会計歳入歳出決算
- (5) 平成 22 年度東濃地域医師確保奨学資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算
- (6) 平成 22 年度東濃西部広域行政事務組合各基金運用状況

3 審査の結果

審査に付された決算書に基づき、歳入歳出関係諸帳簿並びに証拠書類を照合した結果、決算計数は符合して誤りのないことを確認した。

4 決算の概要

平成 22 年度における当組合の 5 会計の決算総額は、歳入 536,438,950 円、歳出 530,702,264 円で歳入歳出差引額は、5,736,686 円で、主なものとして、一般会計で 2,061,453 円、看護学校特別会計で 2,448,257 円となっている。

主な歳入財源である各市負担金については、総合計が 401,254,000 円で、全体の 74.8% を占めており、圏域住民一人あたり 1,831 円の負担となっている。

(1) 一般会計

◎ 歳入について

第 1 款 分担金及び負担金

一般経費負担金として 28,748,000 円、情報システム統合事業負担金として 190,065,000 円が収入となっている。

各市の負担金は次のとおりである。 (単位:円)

	多治見市	瑞浪市	土岐市	合 計
一 般 経 費	11,838,000	7,892,000	9,018,000	28,748,000
情報システム統合	145,881,000	44,184,000	—	190,065,000
合 計	157,719,000	52,076,000	9,018,000	218,813,000

第 2 款 使用料及び手数料

畜犬登録手数料、注射済票交付手数料及び再交付手数料として、10,258,550 円が収入となっている。

第 4 款 繰越金

前年度繰越金として、1,957,026 円が収入となっている。

第 5 款 諸収入

雑入で嘱託職員の雇用保険個人負担分 28,153 円となっている。

◎ 歳出について

第 1 款 議会費

当年度組合議会は定例会 2 回が開催されている。支出済額 130,060 円のうち主な支出は議員報酬の 117,000 円であった。

第 2 款 総務費

総務費は予算現額 219,653,000 円に対し、支出済額が 218,607,215 円となっている。主な支出は一般管理費で職員等の人件費 24,610,744 円、多治見市と瑞浪市で進めてきた情報システム共同運用事業の情報システム管理費として、委託料 99,363,600 円、使用料及び賃借料 90,360,900 円となっている。

第 3 款 衛生費

衛生費は予算現額 10,263,000 円に対し、支出済額が 10,258,001 円となっている。主な支出は 3 市への畜犬登録事務交付金が 6,101,127 円、嘱託職員の人件費が 2,658,347 円である。

(2) ふるさと活性化基金特別会計

◎ 歳入について

第 3 款 財産収入

ふるさと活性化基金の運用利息として、17,564,140 円が収入となっている。

第 4 款 繰越金

前年度繰越金として 475,132 円が収入となっている。

第 5 款 諸収入

広域自主研修助成金他で 682,000 円が収入となっている。

◎ 歳出について

第 1 款 総務費

歳出総額は 12,527,522 円となっており、主な支出は、3 市への地域振興事業補助金 3,000,000 円、広域自主研修事業委託料として 1,504,382 円となっている。

平成 22 年度の補助対象事業及び補助金額は次のとおりである。

事業名	補助金額 (千円)
多治見市 (多治見市 70 周年記念事業の 3 対象事業に対して補助)	1,500
瑞浪市 (夢づくり地域交付金事業の 2 対象事業に対して補助)	600
土岐市 (まちづくり支援事業の 4 対象事業に対して補助)	900

また、平成 22 年度広域自主研修の実施結果は次のとおりである。

研修内容	対象	受講者数
ビジネス文書作成研修	一般職員	24 名
コーチング研修	一般職員	23 名
技能労務職研修	一般職員	24 名
政策法務研修	一般職員	23 名
メンタルタフネス研修	一般職員	23 名

第 2 款 商工費

歳出総額は 5,539,030 円となっており、主な支出は、観光パンフレット作成とし

て4,368,000円、産業観光案内看板設置委託料として1,107,750円となっている。

(3) 東濃看護専門学校事業特別会計

◎ 歳入について

第1款 分担金及び負担金

運営費負担金として64,979,000円、施設費負担金として26,304,000円が収入となっている。

各市の負担金は次のとおりである。(単位：円)

区 分	運営費負担金	施設費負担金	計
多治見市	21,202,000	11,206,000	32,408,000
瑞浪市	5,920,000	4,274,000	10,194,000
土岐市	37,857,000	10,824,000	48,681,000
合 計	64,979,000	26,304,000	91,283,000

第2款 使用料及び手数料

使用料及び手数料は28,760,000円で、主な内訳は授業料24,120,000円、入学金3,800,000円、入学試験料540,000円となっている。

第3款 財産収入

看護専門学校財政調整基金の平成21年度末残高19,780,917円の運用利息として32,000円が収入となっている。

第4款 繰越金

前年度繰越金として1,000,000円が収入となっている。

第5款 諸収入

諸収入は8,350,134円で主な内訳は、教材実習費3,630,000円、施設整備協力金4,450,000円となっている。

第6款 繰入金

財政調整基金繰入金として966,000円の収入となっている。

◎ 歳出について

第1款 衛生費

歳出総額は101,640,463円となっており、主な支出は職員等の人件費76,163,064円、嘱託職員・非常勤講師等報酬7,943,780円、消耗品、光熱水費、修繕料などによる需用費6,504,275円、施設清掃、空調設備点検等の委託料5,620,158円、ガス給湯器取替工事費966,000円、その他学校運営に係る費用となっている。

第2款 公債費

公債費として元金22,468,173円、利子3,834,241円を支出した。

公債費の支出及び平成22年度末未償還元金は次のとおりである。(単位：円)

区 分	支 出 内 訳		借入年月日	22年度末 未償還元金
	元 金	利 子		
普通債	1,105,086	140,434	H5.5.7	2,359,836
〃	21,363,087	3,693,807	H6.5.6	69,823,359
計	22,468,173	3,834,241		72,183,195

(4) 少年センター事業特別会計

◎ 歳入について

第1款 分担金及び負担金

運営費負担金として12,958,000円が収入となっている。

各市の負担金は次のとおりである。(単位:円)

多治見市	瑞浪市	土岐市	合計
6,861,000	2,414,000	3,683,000	12,958,000

第3款 繰越金

前年度繰越金として、793,402円が収入となっている。

第4款 諸収入

嘱託職員雇用保険の自己負担分として13,572円が収入となっている。

◎ 歳出について

第1款 教育費

歳出総額は13,192,718円で、主な支出は職員等の人件費7,992,169円、指導員巡回旅費2,281,740円である。

年度別の指導状況及び少年相談件数は次のとおりである。

	平成22年度	平成21年度	比較
指導回数 (回)	500	587	△87
指導員延人員 (人)	1,952	2,003	△51
指導件数 (件)	115	90	+25
電話相談 (件)	43	125	△82
面接相談 (件)	0	4	△4
メール相談 (件)	21	85	△64

(5) 東濃地域医師確保奨学資金等貸付事業特別会計

◎ 歳入について

第1款 分担金及び負担金

運営費負担金として78,200,000円の収入となっている。

各市の負担金は次のとおりである。(単位:円)

多治見市	瑞浪市	土岐市	中津川市	恵那市	合計
5,080,000	10,080,000	25,480,000	27,480,000	10,080,000	78,200,000

第3款 繰入金

基金繰入金として64,000,000円の収入となっている。

第4款 財産収入

東濃地域医師確保奨学基金の運用利息として、304,841円が収入となっている。

◎ 歳出について

第1款 衛生費

歳出総額は142,504,841円で、主な支出は平成20年度9名分の貸付金32,400,000円、平成21年度5名分の貸付金12,000,000円、平成22年度7名分の貸付金19,200,000円、東濃地域医師確保奨学基金積立金78,504,841円となっている。

(6) 各基金運用状況

①東濃看護専門学校財政調整基金

本基金は東濃看護専門学校施設の整備改善、災害若しくは事故により生じた経費の財源又はやむを得ない理由により生じた経費の財源に充てるために設置されたものである。

平成 21 年度末基金残高 19,780,917 円に平成 21 年度決算剰余金の内 2,022,499 円と平成 22 年度の基金運用収入 32,000 円を繰り入れ、ガス給湯器取替工事費用 966,000 円を取り崩した。平成 22 年度末残高は 20,869,416 円である。

②ふるさと活性化基金

本基金は東濃西部地域の振興整備の事業に資するため設置されたものである。

平成 22 年度の基金運用収入 17,564,140 円は、各種事業費に充当したほか、6,839,000 円は今後の支払いに備え基金に繰り入れを行った。平成 22 年度末残高は 1,018,068,000 円である。

③東濃地域医師確保奨学基金

本基金は東濃地域医師確保奨学資金等の貸付のための経費に充てるために、設置されたものである。

各市からの負担金及び県振興補助金を積み立て、平成 22 年度貸付額及び事務費を取り崩し、平成 22 年度末残高は 75,479,533 円となっている。

5 指摘事項

要望事項は次のとおりであるので、今後はこれらの事項に留意し、事務に取り組んでいただきたい。

①東濃看護専門学校

入学者の減少、退学者数等の課題もあるため、設立目的と経費負担の兼ね合いを考慮した上で、これからの学校のあり方について検討を進めて欲しい。

②東濃西部少年センター

悩みのある青少年の相談に応じるという活動の趣旨は大変素晴らしい。相談件数が大きく減少しているが、潜在的な需要はもっとあるのではないか。必要な予算措置を行い、それらをすくい上げるよう取り組んでいただきたい。今後も少年センターの主たる狙いが何か、その活動はどうあるべきか検討を続けて欲しい。

③ふるさと活性化基金

単市で行う事業は、それぞれの市が費用を負担し、実施すればよいと考える。

④医師確保奨学資金等貸付事業

償還免除に関する規定に関して、臨床研修終了後の着任時期についてももう少し幅の広い規定にしたほうが、東濃地域に優秀な人材を確保できるのではないか。少なくとも、『研修終了後直ちに』である必要はないのではないか。

在籍する大学が国立か私立かで、奨学金の額に差を設けることについては、かねて異論を申し上げていたが、学費の安い国立大学でも優秀な人材を確保するという目的に照らし、月額20万円は妥当だとも考えられるので、現状どおりでよい。

償還時の金利、殊に延滞利息は既に指摘しているとおり利率が高過ぎる。規定で定めがある以上、事情を勘案して金利を減免することは不可能であろう。引き続き検討いただきたい。

⑤その他（全般）

5市で実施している『東濃地域医師確保奨学資金等貸付制度』のような取り組みが、今、最も求められていることだと考える。広域組合の利点を活かした新たな事業に取り組んでいただきたい。